



西桂町



VOL.
112

議会だより



西桂小学校1年生

- 令和4年度一般会計予算賛成討論 2
- 令和4年度一般会計予算の概要 3
- 山崎町長所信表明 4 ~ 6
- 3月定例会予算等の委員会審議内容... 7 ~ 15
- 1月臨時議会予算等の委員会審議内容... 16・17

- 一般質問 (小林議員) 18
- 一般質問 (梅原議員) 19
- 一般質問 (武藤(英)議員) 20
- 一般質問 (渡辺議員) 21
- コミュニケーション広場
(三ツ峠開運の鐘と競馬山幸せの鐘の会) 22

誇れる町の実現に なお一層の努力を

一般会計予算賛成討論

武藤 英一 議員



令和4年度西桂町一般会計当初予算は、総額30億5407万2千円であり、前年度当初予算と比較して7億85万7千円の増額、率にして29・8%の増となっております。

歳入において、町税では、引き続き厳しい状況が続く中ではあります。4億1172万5千円を計上、前年度比508万7千円、率にして1・3%の増となっております。

地方交付税においては、昨年度計上額から7000万円増額の11億1000万円を見込んでおり、基金については、減債基金は昨年度同額の1億5000万円、普通建設事業費に充当する公共施設整備基金4594万5千円、環境保全基金812万円、庁舎建設基金1億3196万円、森林環境基金15万5千円、財政調整基金1億2000万円の繰入を行い、財源確保を図っております。町債においては、臨時財政対策債2670万6千円、公営住宅建設事業債4500万円、公共施設等適正管理推進事業債3億6640万円の借り入れを行っております。限られた財源の中で、交付税算入される起債を活用

するなど、町の努力が見られます。

また、自主財源の確保を図るため「ふるさと応援寄附金」は、6000万円と昨年度の予算を大きく上回り、前年度比4176万円、率にして228・9%の増額予算を計上するなど、寄付額の増加に向けた取り組みを積極的に行っております。

歳出においては、福祉ニーズの増大に伴う扶助費等の社会保障経費や公共施設の維持管理及び老朽化に伴う改修費の増加など、財政運営は、厳しさを増しています。

このような財政状況の中、ソフト面においては従来の施策の継続に加え、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業経費及び適切な感染症対策を講じ、町民に対する健康づくりを推進するため、第2期健康増進計画策定経費を計上しております。

また、子どもの医療費の窓口無料化については、対象年齢を18歳まで拡大し、子育て支援の充実を図っております。

高齢者福祉については、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための事業として、本年度より新たに試行的に開始する移

動支援事業は、日常生活に必要な買い物や通院等に困っている高齢者、障がい者等の外出や移動手段を確保するためのものであり、私といたしましても大いに賛同するものです。

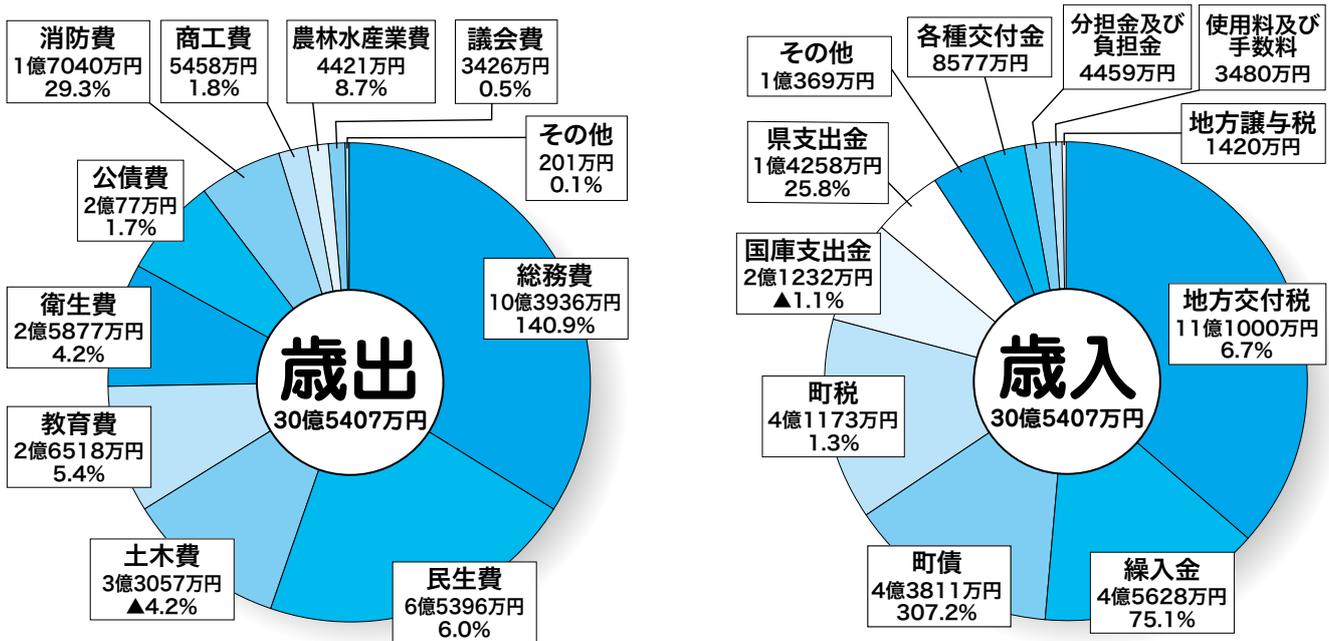
ハード面においては、役場新庁舎建設事業が着々と進められており、本年初秋の新庁舎建設工事着工を目指し、ふれあいサロン三ツ峠の解体及び新庁舎敷地造成工事費が盛り込まれた予算となっております。

また、町営住宅改修事業、郷土公園整備事業により住環境の整備を推進するとともに、小学校南館防水改修事業を計画的に行い、学校教育施設の整備・充実を図っております。

山崎町長におかれましては、「西桂町第6次総合計画」、「令和4年度主要事業計画」及び、山崎町長の選挙公約である「小さな町のまちづくり戦略」に取り組んでいただき、地域と行政が連携し、未来の子供たちへ誇れる町の実現に向けて、なお一層の努力をお願いいたします。令和4年度一般会計予算についての私の賛成討論いたします。

未来の子供たちへ 向けて、

令和4年度 西桂町一般会計当初予算



■基金(貯金)残高15億6292万円(約38万円)

■地方債(借金)残高

普通債 7億524万円(約17万円)

臨時財政対策債等 10億166万円

※ 臨時財政対策債は、地方交付税で100%財源が措置される地方債です。

※ 上記の割合は対前年度増減率です。(主要な経費のみ記載)

※ 左記の額は一般会計令和3年度末見込みです。

※〔 〕内はR4年4月1日現在人口4,118人で割った一人当たり額

歳出 一般会計の主要事業及び主な新規事業

- 新庁舎建設事業 5億226万円
- ふるさと西桂応援寄付金事業 3000万円
- ブランドプロモーションマネジメント事業 951万円
- 高齢者等移動支援事業 1061万円
- 柿園四方内・郷土地区電気柵設置工事 1000万円
- 下水道本復旧舗装工事経費(叢和田線・横道線他) 1320万円
- 郷土公園人工芝等改修工事 935万円
- 町営住宅水回り改修経費 1億450万円
- 小学校南館防水改修工事 2596万円
- 水道管布設替工事(倉見堀西海戸道下線他) 1696万円
- 下水道管渠布設工事(倉見大畠道上他) 3590万円



令和4年度予算は、令和3年度よりスタートした「西桂町第6次総合計画基本構想」に記載した6つの方向性に基づいた分野別計画に沿って申し上げます。

緑と水に親しむ 空間の形成

当町は緑あふれる山の自然、桂川を中心とした清流、これらの豊かな自然は貴重な町の財産となっております。

これらの自然環境を、未来の子どもたちへ残し伝えていくことが重要であると考えておりますので、町内外の各種団体等と連携し、清掃や植栽活動などを通じて、官民協働による各種事業を実施してまいります。

ふるさとと景観の形成

自然とともに先人の方々の営みを作り上げてきた美しい街並み・良好な景観の保持・形成に努めて

まいります。
中でも、町外から訪れる方々の玄関口となっている「富士急行線三つ峠駅舎」は、現在、無人駅となっております。駅周辺の賑わい創出も含め、新たな町の交流拠点とすべく、有効活用に向けて関係機関と検討を始めたところであります。



新たな交流拠点として検討を進める三つ峠駅舎

環境保全・循環型社会 の構築

本年2月1日に、ごみ処理広域化を目的とした「富士・東部広域環境事務組合」が設立され、令和14年4月の施設稼働に向けて準備

が進められます。

当町は建設地として、今後、地域説明会や環境調査などが行われますが、町民の皆様にご理解いただけるよう、慎重に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

河川や用水路のゴミの流入対策につきましては、令和3年度から除塵機の設置を行っており、下幕地内への設置をはじめ、今年度も引き続き設置していきます。

子どもたちや住民の皆様には、河川ゴミの現状を知っていただくことで意識改革を図り、河川ゴミの発生抑制に繋がっていきたくと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

水道・下水道事業の推進

令和4年度の簡易水道施設整備事業は、倉見地区配水管布設工事他3件の工事を予定しており、また、公共下水道整備事業は、継続事業として倉見地内・第3―2処理分区で3件の工事を予定しております。今後も快適な生活環境づくりのため、整備の推進に努めてまいります。

町土の有効活用と 市街地整備の推進

当町は、面積の約8割が森林で

あり、農用地や宅地等に使える土地に限られるなか、公共施設の整備や快適な住環境の確保、文化・交流などの拠点整備など、適正な土地利用の推進が必要であります。

令和4年度は平成25年3月に策定した都市計画マスタープランの目標中間年次でありますので、マスタープランを見直し、「都市的土地利用を図るエリア」拡大のための改定に向けて、都市計画審議会に諮っていきたくと考えております。

町営住宅の長寿命化につきましては計画に基づき、令和3年度を初年度として、住宅内部の水回り改修工事に着手しており、改修工事終了の目標年度は令和8年度まで、順次実施してまいります。

道路交通網・公共交通 体系の確立

当町の道路網は、広域を結ぶ国道139号と、県道富士吉田西桂線が中心となり、町民の皆様の生活や産業の基盤を形成していることから、計画路線の早期実現に向け、今後も関係機関と協議してまいります。

地域の安全強化

消防団をはじめとする関係機関と連携し、防犯活動を支援し、犯罪や事故を未然に防ぐ取り組み

や、町民の皆様が被害に遭わないための体制づくりを整備し、日常生活の安心と安全の確保に努めます。

地域防災の推進

昨年4月から運用が始まった防災情報伝達システム「@Info Canal」につきましては、様々な機会を捉え、登録者普及に取り組み、現在約790人の方が登録しております。また、スマートフォンや携帯電話を利用しない世帯に対しましては、現在550以上の世帯に貸し出ししており、防災や行政情報の発信ツールとして活用されております。

農林業の振興

平成28年度より、下暮地尾尻地区から柿園四方内地区にかけて、電気柵の設置を年次計画で延伸してまいりました。

令和4年度は最終年度として、都留市との境までの約400mの設置を計画しており、6年間で総延長約1.9kmに及ぶ電気柵の設置が完了することになっております。

商工業の振興

新型コロナウイルス感染症の影響により、商工業全体を取り巻く

環境は、依然として厳しい状況にあります。令和3年度においては感染症の影響を受けた事業所等への支援として、「西桂町事業継続給付金」や「西桂町やまなしグリーンゾーン認証施設支援金」などの事業を実施してまいりました。

今後も、国や県との連携、また西桂町商工会、西桂織物工業協同組合との連携強化を図り、各種事業の取り組みを継続してまいります。

観光の振興

現存の観光資源を保全しつつ、新たな観光資源の発掘に努めるとともに、商工業と連携した拠点づく



観光拠点の三ツ峠グリーンセンター

くりや、三ツ峠グリーンセンター周辺を拠点とした観光需要の開拓など、多彩な観光事業の展開を検討してまいります。

感染症対策

長期化している新型コロナウイルス感染症は、町民の生命・健康はもとより、社会経済にも極めて大きな被害を及ぼしている状況にあることから、国・県の指導に基づき、円滑なワクチン接種と、適切な感染症対策を講じ、引き続き町民の皆様との安全と安心に努めてまいります。

保健・医療の充実

令和4年度において第2期西桂町健康増進計画を策定し、令和5年度以降の町民に対する健康づくりを推進する考えであります。

子どもの医療費につきましては、令和4年度4月より、満18歳未満の高校生等に対し、医療費の窓口無料化を実施してまいります。

成人・老人健診事業につきましては、特定健診や各種がん検診・人間ドック等を実施し、また、疾病の予防や早期発見・早期治療による医療費の抑制を図るため、未受診者宅への戸別訪問等の受診勧奨を実施することで、検診受診率の向上に努めてまいります。

子育て支援の推進

子どもの健やかな成長と保護者の子育てを支援するため、「西桂町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、引き続き事業を推進してまいります。

西桂町入学就職支度金支給事業につきましては、令和3年度をもって終了する事業を令和8年度まで延長し、子育て家庭に対する経済的支援を行ってまいります。

高齢者・障がい者福祉の充実

高齢者福祉の充実につきましては、地域包括ケア体制の推進を図るとともに、発症予防も含め、認知症対策を総合的かつ継続的に推進してまいります。

また、以前より課題であった高齢者等の移動支援事業については、令和4年度より実施してまいります。試行的な実施であるため、課題等が多々あると思われませんが、町民の皆様からのご意見をいただく中で、町民の足として利便性の高いサービスにつなげていく考えであります。

障がい者福祉の充実につきましては、障がい者総合支援法による各種障害福祉サービス等の提供や、医療費助成などの支援に取り

組んでまいります。

地域福祉の充実

福祉施策を総合的かつ計画的に推進するため、活動の原動力となる社会福祉協議会組織の体制強化に努めてまいります。また今年度、社会福祉協議会が中間見直し中である地域福祉活動計画を着実に遂行できるよう連携・協力し確実に実施してまいります。

生涯学習の充実

きずな未来館では、芸術文化の交流拠点施設として、生涯学習活動等を提供する場として、各種事業を展開してまいります。

また、各種スポーツ教室の開催や、小中学校の屋内運動場の一般開放など、誰もがスポーツに親しむことのできる機会の拡充を図ってまいります。

学校教育の推進

「自ら学び考える力を育てる教育」につきまして、基礎学力の確実な定着を図るため、体験活動の充実、外国語教育の充実、ICT教育の充実、読書活動等の推進を図ってまいります。

なお、発達障がいのある児童生徒につきましては、県や専門機関との連携も加えた受入れ支援、指

導体制の整備を図り、環境整備に努めてまいります。

「小中一貫教育に向けた連携の推進」につきましては、小中学校教職員が協力して児童生徒の育成に取り組む体制づくりを進めてまいります。

学校教育施設の整備・充実

令和4年度から令和5年度にかけ、小学校南館校舎防水外装塗装事業を計画しています。今後も計画的な管理を行い、使いやすく安全性の高い施設管理に努めてまいります。



防水外装塗装を計画している小学校南館校舎

青少年の健全育成

青少年の健全育成には、取り巻く環境の変化を捉え、相談体制を充実し、不安や悩みの早期発見と、問題行動の防止に努めることが必要となります。学校現場においては、教職員、養護教諭及び、スクールカウンセラーと連携し、地域においては、スクールガード連絡会及び青少年育成西桂町民会議の活動を支援し、青少年の健全育成に努めてまいります。

地域資源の保全・活用

町の文化財の保護につきまして、文化財保護審議会を中心に、貴重な資源を保全するための管理体制について検討するとともに、町民が地域の歴史に触れ親しむ取り組みを推進してまいります。また、文化財保護法第94条に基づく発掘調査を、県道富士吉田西桂線の計画地内において実施してまいります。

行財政運営の充実

新庁舎建設事業につきまして、現在、限事務所において「西桂町役場庁舎実施設計業務」の詳細な積算のまとめを行っており、新年度早々には、ふれあいサロン三ツ峠の解体及び新庁舎敷地造成



新庁舎建設に伴い解体予定のふれあいサロン三ツ峠

工事、9月には新庁舎建設工事の着工を予定しております。

また、町産木材の供給業務につきましては、ルーバー、フロリング、家具等に使用予定であります。町産織物の供給業務につきましても、織協を通じて町内の織物業者にプロジェクトへの参加を呼びかけ、限事務所の監修のもと、内装クロスや家具、オブジェなどに活用できるよう、進めてまいります。所存であり、様々な町民の皆様のご協力のもと、「町民の安全・安心を支え、誰もが親しみの持てるまちづくりの拠点となる庁舎」となるよう、私自身が先頭に立って取り組んでまいります。

令和4年度特別会計決算額

全 員 賛 成

会 計 名	予 算 総 額	前年との比較
一 般 会 計	30億5407万円	7億0086万円
国民健康保険特別会計	3億8922万円	5374万円
後期高齢者医療特別会計	9759万円	631万円
介護保険特別会計	4億6507万円	1966万円
介護予防支援事業特別会計	107万円	△4万円
簡易水道特別会計	8613万円	887万円
下水道特別会計	2億1136万円	△670万円
合 計	43億0451万円	7億8270万円

(1万円未満四捨五入)

3月定例会・条例改正、廃止

全 員 賛 成

条 例 名	主な内容
公益的法人等への西桂町職員の派遣等に関する条例の一部改正	公益的法人等への西桂町職員の派遣に関し、会計年度任用職員や再任用職員を派遣できるようにするための条例改正
西桂町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	職員の勤務時間、休暇等に関し、国家公務員との均衡を踏まえ不妊治療休暇及び出勤困難休暇を新設するための条例改正
西桂町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	職員の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のため、育児休業取得要件緩和や、育児休業を取得しやすい環境整備のための条例改正
西桂町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	食育推進計画が健康増進計画に統合されるため、食育推進計画策定委員会が廃止となることに伴う条例改正
西桂町教育図書購入基金条例の廃止	西桂町教育図書購入基金の廃止に伴う条例廃止
西桂町福祉施設整備基金条例の廃止	西桂町福祉施設整備基金の廃止に伴う条例廃止
町道路線の認定（廃止・変更）	県道富士吉田西桂線の一部供用開始に伴い新しく認定及び廃止する路線が確認されたため、道路法第8条第2項の規定による道路認定



三浦善明氏（上町）

人権擁護委員



郷田善臣氏（下暮地）

固定資産評価
審査委員会委員



事業を推進！ 経済の発展を目指す

令和4年3月定例会

令和3年度 西桂町議会3月定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。町長より令和4年度当初予算7件をはじめ、補正予算7件、条例6件、議決議案1件など議員より発議1件が提案され、全ての議案が原案のとおり可決されました。主な審議の内容を要約してお伝えします。

令和4年度西桂町 一般会計予算

【主な委員質疑】

【歳入】

渡辺委員 自主財源の減少が気になるところです。自主財源の確保に向けた取り組みに全力で対応策

を講じなければならぬという認識ですが、ふるさと納税はもちろん、他の施策の考えは。

高山企画財政課長 町税は今後とも4億円を超えたところで推移しておりますが、これ以上の伸びは期待できないと考えます。ふるさと納税・ふるさと応援寄付金をいかにして全国から集めるかということに主眼を置いて取り組んでいきたいと考えています。

小林委員長 当町は標準財政規模が15億から17億位の地方公共団体で、従来は23億円前後の予算でした。今回は30億円の大増予算です。「入るを量りて、出ざるを制す」という財政の基本的考えがありますが、この数字の裏付けは。

高山企画財政課長 国の補助金や県の補助金というのは、各事業の事業費に基づいた割合で配分されるものです。こちらの方の裏付けは取れております。コロナ関係は、地方創生臨時交付金という形で、国から交付税的な扱いできております。例えば民生費の福祉関係補助金や教育費補助金とかは、事業費ベースの率に応じて配分されるものですので、そちらの方はご心配いらないと思います。あくまで

も予算ベースですが、確度の高い数字が入っていると思います。

武藤(隆)委員 新庁舎建設に伴う町債の発行が3億6600万円あります。この返済の計画は。

高山企画財政課長 3億6600万円と、令和5年度に5億円以上借りると、総額9億5800万円借り入れます。元利償還金で、据え置き5年、償還期間含め30年になつていきます。

武藤(隆)委員 国庫補助金の社会資本整備総合交付金に桂川ハザードマップ作成費補助とあります。ハザードマップの内容は。

山崎町長 昨年度の富士山火山防災が改定され火山防災のハザードマップが改定されました。近年、雨の災害が激甚化しているので、関係のハザードマップを県主導で改定する動きです。県下の全河川が対象です。

【歳出】

地域おこし協力隊募集

酒井委員 地域おこし協力隊の募集人数と内容は。

山崎町長 採用は大勢したいですが、予算上は2名です。分野は3

ブランドプロモーション 商品開発による産業

分野、①町の情報発信・ふるさと納税②山林の活用での新サービス③グリーンセンター周辺の事業、で募集します。各分野に1名来れば3名ということもあり得ますが予算上は2名です。

ブランドプロモーション事業

渡辺委員 西桂町のアップル、これは非常に必要な事と思います。機械の他に何をどのようなスタンスでアップルするのかお考えは。山崎町長 織物の他に、水、ジュエリー、寝具、木工品に関わっている方もいらっしゃいます。そういう方々の商品開発等も含め力を入れないと西桂の返礼品が充実しません。西桂の産品が前面に出て、ふるさと納税が伸びるとともに、西桂の産業・経済が発展するというのが趣旨です。新たな商品を開発し情報発信をしていくという意味合いもかなり入っています。今年の場合、西桂の事業者の中で、商品開発がされていない事業者とか、そういうところの新規発掘事業が中心、それと発信。来年度はそのブラッシュアップとか、発展的なというふうに変わっていくと思います。

観光事業の宣伝

武藤(隆)委員 観光宣伝経費を使ってドローンで撮影し、これのような媒体を使って町をアピールするが一番大事だと思います。観光宣伝媒体は。

山崎町長 町のHPが中心です。今はSNS主体の広報が、一番効果があります。町民の若い世代の方が町の事を知って、新たに認識してもらい、自ら発信してもらいたいと思っています。



三ツ峠さくら公園のライトアップ事業

酒井委員 さくら祭りですが、今年の開催内容は、山崎町長 コロナ禍になってから

ここ2年間、開催できないので、桜の開花に合わせてライトアップ事業という事で実施していきます。さくら祭り実行委員会の方と協議し、私の方針としては、さくら祭りは満開の時期に合わせてライトアップ事業を盛り上げていくという方向です。コロナが終息し大々的に祭りをやるようになれば、満開に合わせて、さくら公園内でイベントを実施する方向で検討したいです。

商工関連

渡辺委員 商工会と織協に対する補助金が大きく目立ちます。会計年度独立の観点から、使い切らないと来年度削減されると考えが生じる恐れがあります。各種団体への補助金活用について、町長のお考えは。

山崎町長 私の認識では、これでは十分でないと思っています。これは商工会の中の補助金の3分の1くらい。織協のほとんど事務は商工会に委託しているので、本当に最低限の維持費です。

展示会に出展する時の活動支援事業は別にあります。また、町民活動で言うと、協働事業提案制度

確保、外出を支援 の体制強化を図る

は、対象事業が非常に幅広いです。補助事業メニューは国・県を含め相当ありますので、そこへのご協力はいくらでもできると思っております。

ゴミリサイクル事業

渡辺委員 ごみ焼却場ができるので、他の市町村に向けたゴミのリサイクルやゴミの減量化に関する啓発について町の考えは。

山崎町長 新しいごみ処理場の建設にあたって、生ごみプラント発電事業とか色々提案は考えております。環境に触れ合う公園の様なものを提案していくつもりです。今は計画段階ですので、そのようなものは一切入っておりません。利用自治体の負担割合に減量インセンティブ（処理・利用割を9割という形、ごみが減ったところは負担金が少なくなる）仕組みになっております。10年後に向かつて当町の出し方も、まずは指定ゴミ袋による有料化・細分化、資源化ゴミを増やすという方向にステップアップしていかなければならないと思っております。町民の協力が必要なので、情報を発信しながら少しずつ取り組んでいき

いと思っております。

移動支援事業

中村副委員長 移動支援事業は高齢者が大変喜んでおりました。自乗車のリース料と購入費の2台分の予算が計上されていますが、事業で使用する台数は。

永田福祉保健課長 今のところ計画しているのは、7人乗り乗用車1台と軽自動車1台です。



移動支援事業で使用される車両

中村副委員長 説明資料には、「町の公用車を運転し、利用料は無料とするデマンドタクシーを試行的に運行予定。業務は社協に委託し、職員は社協に出向。利用者は、申

請による事前登録制。町内移送は、電話で即時対応。町外移送は前日までの予約制。ドア・ツー・ドアを基本。対象者は、運転免許証を所持しない、または運転ができない等移動手段のない高齢者・障害者・妊婦等が対象。町内あるいは町外、都留市・富士吉田市・富士河口湖町への外出を支援する。」というような内容になっております。事業の内容はこの説明のとおりでよろしいか。

山崎町長 いま検討中で、決定ではないです。基本は前日までの予約で移動支援をすることで考えております。最終的な実施が決まりましたら、対象者には個別に案内を出し、広報を使って発信をしていきます。2年間くらい試行して再来年位に固めるということもありだと思えますので、より良い制度にしていけるように町民の皆様、議員の皆様にもご協力いただきたいと思えます。

社会福祉協議会組織体制

武藤(隆)委員 町長の所信表明の中に、社会福祉協議会組織の体制強化を図るといふ所信表明がありました。基本的に社会福祉協議会

高齢者等移動手段の 社会福祉協議会組織

は福祉保健課と連絡をとりつつ、独立したものになってほしいです。社会福祉協議会組織体制についてのお考えは。

永田福祉保健課長 社協の強化は、令和三年度より体制整備のために外部から事務局長1名、専門職の社会福祉士1名を採用し、組織の充実を図ってまいりました。福祉保健課でできない事業は社協にお願ひし、今後も双方でサービスを充実させるように頑張りたいと思います。地域福祉活動計画も見直しております。身障者に関すること、ボランティアセンター等の立ち上げ等、今までやってないものをこれから充実させ、4月以降は計画に基づき積極的に展開していく考えであります。

山崎町長 社会福祉協議会は非常に重要な組織だと認識していただき、積極的に活動していただき、社会福祉協議会独自の事業で収益を上げ、他の事業に充てていくというのが本来の姿だと思っております。西桂の社会福祉協議会は、町からの受託事業がほぼ100%です。ですから、今の形が最終形態とは思っておりません。社協が障害者支援とかを新しい事業とし

てやっていくよう指導をしていきたいと思っております。

保育所実施事業

小林委員長 昨年度はコロナ禍で相当な保育事業が中止に追い込まれ、園児の発表会を楽しみにしていた親御さんたちが非常に残念がっております。今年は何とか発表会等を開催できるような方法を考えていただきたい。

新田保育所長 多くの人にといいことが中々今できない現状ですが、子供さんの行事は何とか継続してやっております。何かご提案いただければ取り組んでまいりたいと思います。

自殺対策の強化

藤江委員 自殺対策の強化についての事業内容は。

永田福祉保健課長 自殺対策については、①協議会を立ち上げ、専門家の人を呼んで対応を考えていく、②個別事例が出た時には専門職員と話し合うなど、その方に合った対応を考えて取り組んでいきます。

小林委員長 コロナ禍以降、若年層の自殺が増えて、国や県が対策

を積極的に取るようになってきていると思いますが、町では若年層に対する啓蒙や施策は。

永田福祉保健課長 協議会の中には学校関係者、民生委員、保育所の所長とか子供を取り巻く環境の方々に出席をいただいて、現状を把握しながら対応しています。

川村教育長 教育委員会では、警察や弁護士さんなどの団体に講演に来ていただき、小学生は4年生以上、中学生は全員に講演会を開いていたいただいて、自殺が起きないように努めています。

消防関連

渡辺委員 10月の富士五湖消防本部新庁舎開庁に伴い西桂分遣所の体制も変わると聞いています。それに伴い負担金が増額されると聞いていますが、負担金の説明を。

山下総務課主幹 富士五湖消防経費で、35,222千円増額しておりますが、この内容につきましては、新庁舎建設と高規格救急車の配備・新はしご車の配備のための増額です。西桂分遣所は、富士吉田消防署が遠くなることから、現在の3名体制から6名体制になると伺っています。

令和4年度西桂町国民健康保険特別会計予算

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 一般被保険者の高額療養費支給経費が、来年度800万円ほど増額して3000万円を見込んでいますが増額の理由は。また医療費負担を軽減するための対策は。

小川税務住民課長 過去3年間の高額な医療費を確認したところ、生活習慣病に関する癌等の病気が占めています。さらに令和3年度は一人当たりの医療費が高額になっております。当町のような小規模な自治体ですと、一人、二人が大きな病気になりますと医療費が増加し、高額療養費も増加します。対策としては、生活習慣病が主な要因ですので、保健事業の中で、若いうちから対策できるように、福祉保健課、教育委員会に協力いただき運動教室等の実施を進めていきたいと考えています。

(主な委員質疑)

中村副委員長 一人暮らしの要介護者を兄弟の方が病院や買い物に乘せていく際のガソリン代等の支援は。

永田福祉保健課長 今の制度ですと、そのような支援はありません。4月より移動支援サービスが始まりますので、全ての方が対象となるわけではないですが、移動支援と言う形で救済していけると考えております。2つのパターンを考えておりまして、まず、介護の必要がない移動困難者については、普通の移動支援を利用していただきます。もう一つは、要介護度が高く、車に乗せる事が非常に難しい方は、「ばいかも」さんとも相談して、介助員を付けた移動支援を計画しております。

令和4年度西桂町簡易水道特別会計予算

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 漏水を防ぐため老朽化した水道管の取り替えを計画的に予定していると思いますが、



水道管の布設替工事

布設替工事を終了する予定期間は。

重森建設水道課長 取替計画というより、老朽化した取り替えなければならぬ管はピックアップはしてあります。それが計画になるとは思いますが、それを何年度にどのくらいやるという計画はまだ作っておりません。

武藤(隆)委員 ピックアップが済んでいるので、取替計画を作成する考えは。

重森建設水道課長 町内全域を結び管を作りたいとか、新設管を作りたいという事を検討している関係から、事業費を一気に投入できないところもありますが、老朽化

した管の取り替えの年次計画も少しずつ載せながらやっていきたいと思えます。

武藤(隆)委員 しっかり計画を立てて実行してください。

令和3年度西桂町下水道特別会計予算

(主な委員質疑)

小林委員 敷設した総延長から見ると、下水道接続地域が増えていくのに対し、下水道の使用料が減額となつていますが、その理由は。また今後の下水道の敷設計画は。

重森建設水道課長 下水道・水道ともに、定住されてきている方もいれば、アパートや借家に住まわれている方もいますので、対象人数の移動がありますので一概に右肩上がりというわけではないと思います。今後の敷設計画ですが、全体計画を縮小する中で、コンパクトにしております。今残っている部分は国道部分ですが、県道の供用開始がまだ先になりますので、それからなるうかと思えます。接続率の向上に主眼を置いていきたいと思っております。

令和3年度一般会計 補正予算(第7号)

(主な委員質疑)

会計年度任用職員

渡辺委員 会計年度任用職員の賃金と正職員の給料の格差について、町の考えは。

山崎町長 基本的な考え方として、会計年度職員は正職員の業務の補佐として毎年契約しています。また、長期的に働いている会計年度任用職員の方に、正職員としての希望があるかどうか、希望を伺っています。2名の方が職員になっています。職員と会計年度職員の差というのは、業務に対する責任と業務の範囲がかなり違っていますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

町営住宅改修工事

小林委員長 町営住宅の改修工事は、まず空き部屋から改修し、居住されている部屋を改修する場合は、改修済みの空き部屋に移動し、改修後、移動前に居住していた部屋に戻ると伺いましたが、その理

由は。

重森建設水道課長 これは公営住宅法の法律の中に入らなれていて、改修した部屋に住み替えることは、町営住宅を新たに申し込んでから入居することになります。公営住宅法では、住居に困っている方が第一条件となっています。居住中の方が困っているから空き部屋に入るわけではないので、改修している間、一時的な仮の住まいとして対応するように、県より指導を受けております。



水回り改修工事が完成した町営住宅中野団地

道路橋りょう費

藤江委員 道路橋りょう費の維持補修経費が、2800万円増額計

上されていますが、事業の内容は。
重森建設水道課長 2800万円

につきましては、橋梁の法定点検をしながら長寿命化計画を立てるのですが、20メートル以上ある橋を点検する中で、令和4年度に実施設計をかける予定でおります。こちら1月に、国から補正予算がおりてきました。補正予算をここでつけるので、できるところは手を挙げてくださいというお話がありまして、令和4年度委託を前倒しでここでつけさせていた

から平成30年から令和3年10月まで段階的にたばこ税の引き上げが行われ、現在千本当り6522円という状況になっております。改正前後というのは、買い増しによる伸びも若干ありますが、全体的に吸う人は委員ご指摘のとおり減っていますので、税率が上がっていることにより、増収を見込んでいます。

小中学校費の教育振興経費

小林委員長 小学校費と中学校費の教育振興経費において、予算を減額していますが、その内容は。
川村教育長 予算の内容は、担当の先生方が都合が悪くなり授業に出席できなくなった場合などに、臨時の先生に授業を担当していた。だいたいの予備的な予算を計上しております。令和3年度においては、臨時の先生にお願いすることが少なかつたので、見込みにより予算を減額いたしました。他の学校に比べて十分に手厚く先生を雇っておりますので、先生方も非常に喜んでいて、こういう環境にしたいだけがあればありがたいと思います。

3月定例会・補正予算



会 計	補 正 額	補正後の予算総額
令和3年度一般会計補正予算(第7号)	6072万円	28億1810万円
○歳入 地方消費税交付金、地方交付税(普通交付税)、子育て世帯等臨時特別支援事業費国庫補助金、道路橋りょう費国庫補助金、福祉施設整備基金・財政調整基金繰入金他の増額、感染症予防事業等国庫補助金、公共施設整備基金・減債基金・庁舎建設基金繰入金他の減額		
○歳出 基金運用経費、橋りょう維持補修経費他の増額、新型コロナウイルス感染症対策経費、簡易水道・下水道特別会計繰出金、町営住宅維持補修経費の減額		
令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1308万円	4億214万円
○歳入 国民健康保険税、県補助金(保険給付費等交付金)他の増額、財政調整基金繰入金他の減額		
○歳出 一般被保険者療養給付費他の増額		
令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	△270万円	9098万円
山梨県後期高齢者医療広域連合負担金他の減額		
令和3年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	△1085万円	4億6278万円
○歳入 繰越金他の増額、給付準備基金繰入金他の減額		
○歳出 給付準備基金積立金他の増額、居宅介護サービス給付費他の減額		
令和3年度介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	8万円	119万円
居宅介護サービス計画作成経費の増額		
令和3年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)	△664万円	7904万円
○歳入 財産売払収入他の増額、一般会計繰入金、水道事業債他の減額、		
○歳出 水道施設整備経費他の減額、		
令和3年度下水道特別会計補正予算(第1号)	△2430万円	1億9376万円
○歳入 一般会計繰入金、下水道事業債の減額		
○歳出 流域下水道経費、公共下水道施設整備経費他の減額		

令和3年度西桂町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
(主な委員質疑)

菅谷委員 財政調整基金繰入金は、一般財源必要額の減少による調整とありますが、その内容について説明を。

小川税務住民課長 予想以上に税収が確保できたこと、基金からではなく、一般会計からの繰り入れ基準に基づく繰入金が増加したこと等によって、予定より基金を取り崩す必要がなくなったという事でございます。

藤江委員 高額療養費について、当初予算と比較するとおよそ1000万円増加しています。その内容について説明を。

小川税務住民課長 当町では、今まで低い水準で医療費が推移しておりましたがここにて増加傾向にあります。12月の段階でも多く見込んで補正をしましたが、それ以上に医療費が増加しているという事です。

(主な委員質疑)

菅谷委員 給付準備基金繰入金は3547万8千円の減額、また給付準備基金積立金が1607万円の増額ですが、その内容について説明を。

永田福祉保健課長 給付費準備基金繰入金ですが繰越金のみで会計が成立しますので、取り崩しをせず、減額とさせていただいております。また1607万円の給付準備基金積立金ですが、積立に回せるという見込みがございましたので、計上させていただいております。

小林委員長 居宅介護サービス経費が、当初予算と比較するとおよそ3200万円も減額しています。その理由について説明を。

永田福祉保健課長 居宅介護サービスの経費ですが、おそらく新型コロナウイルスの影響で居宅介護が利用できなかつた時があるなどして、請求が少なかつたという事が挙げられると思います。また、中にはお亡くなりになつた方もおります。

西桂町議会政治倫理条例の制定について

町議会議員政治倫理条例を制定しました

西桂町議会では町議会議員が町民全体の奉仕者として人格と政治倫理の向上に努め、町民の信頼に応えるため、令和4年3月定例会において議員発議により提案され、全会一致で可決しました。この条例は令和4年4月1日から施行されております。

西桂町議会政治倫理条例の主な内容

政治倫理基準の遵守(第3条)

議員は、町の請負契約、一般物品納入契約、業務委託契約及び指定管理者の指定に関して特定の企業、団体、個人に対し不正な計らいをしないこと。町職員の採用、異動、昇任、昇格等人事に関与しないことなど。

補助等を受けている団体の長への就任(第4条)

議員は、町からの補助、助成などを直接受ける団体の代表に就任しないよう努めること。やむを得ない事情により、就任しようとするときは、議長にその旨を届け出なくてはならない。

請負契約等に関する遵守事項(第5条)

議員は、地方自治法第92条の2の規定の趣旨を尊重し、町等が行う請負契約等を辞退し、町民に疑惑の念を生じさせないように努めなければならない。

指定管理者の指定に関する遵守事項(第6条)

議員は、自らが取締役等をしている法人等が、町から法第244条の2第3項に規定する指定管理者に指定されたときは、当該法人等の取締役等を辞任しなければならない。

調査請求権(第7条)

議員が、第3条又は第5条又は第6条の規定に違反する疑いがあると認められるときは、町民にあっては選挙権を有する者の50人以上の者の連署をもって、議員にあっては3人以上の者の連署をもって、議長に対し、調査の請求をすることができる。

政治倫理審査会の設置等(第8条)

議長は、調査請求が適当であると認めるときは、西桂町議会議員政治倫理審査会(委員5人で組織)を設置し、調査を審査会に付託する。

遵守義務違反の審査結果等(第9条)

政治倫理審査会による審査の結果、遵守義務違反であると決定した場合には、当該議員に対して次の措置を講じる。

- (1) 議場における議長の注意
- (2) 議場における謝罪文の朗読
- (3) 議員が就任している職で議長が別に定める職の辞任勧告
- (4) 議員辞職勧告

令和4年1月臨時議会

子育て世帯等臨時特別支援事業費及び 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交 付金事業費を予算計上

令和3年度 西桂町
議会1月臨時会は、1月
27日に開かれました。
町長より補正予算1
件が提案され、原案の
とおり可決されました。
主な審議の内容を要
約してお伝えします。

令和3年度一般会計 補正予算(第6号)

(主な委員質疑)

子育て世帯等臨時特別 支援経費

菅谷委員 子育て世帯等臨時特別
交付金の支給件数は。
永田福祉保健課長 住民税非課税
世帯と家計が急変した世帯を対象
としており、令和3年1月1日現
在の課税により、非課税世帯は
310世帯、家計急変世帯は10世
帯を見込んでいます。
小林委員長 子育て世代等臨時特
別支援事業で3200万円配布す
るのに、今回限りのシステム保
守料約200万円計上しておりま
す。この町だったらアナログ方式

の郵送で用が足りるのでは。
永田福祉保健課長 子育て世帯等
特別臨時交付金の非課税世帯への
10万円給付につきましては全国統
一のフォーマットがあり、非課税
世帯の他にも条件があるため、人
の手で迅速に対象者を絞込むのは
大変難しい作業になります。それ
で、システム対応を選択しました。

高齢者活動団体への 活動継続・再開支援事業

菅谷委員 高齢者活動団体への活
動継続・再開支援事業の交付目的
と交付件数及び金額は。
永田福祉保健課長 高齢者活動団
体へ、新型コロナウイルス感染症
が小康状態に向かい活動の継続及
び再開を支援することを目的に交
付します。対象団体は、高齢者の
生きがいづくり事業の一環として
実施している「いきいき交流会」
7団体。それから各地区の「寿ク
ラブ」5団体、合わせますと12団
体です。1団体あたり10万円、合
計120万円を交付します。

各種団体への活動継続・ 再開支援事業

武藤(隆)委員 支援金の申請につ

いては、通常ですと活動をするた
めの事業計画に資金需要があり申
請しますが、現在、コロナ禍でさ
まざまな事業が中止となる中、事
業を計画しての資金需要はおそら
くないと思います。この支援金を
コロナ収束後の活動を対象とした
使途が定まっていななかでの申
請は可能か。

山崎町長 基本は今回コロナウイ
ルス感染症対策費の交付金の中に
コロナ後の経済復興が新たに追加
されました。基本的に使途制限は
しません。備品購入でも懇親会で
も、会の活動であれば使途は問わ
ず、あくまでもコロナ後の活動再
開の助けになればという趣旨で
す。補正予算ですので3月中にお
配りする予定です。

武藤(隆)委員 ただ一点危惧する
のはどうように各種団体に周知す
るかです。当然、申請に基づき支
払うものだから漏れがあつては
困ります。漏れないように重々
お願いします。

小林委員長 活動継続・再開支援
事業で通知送料・振込手数料、更
に組戻手数料が計上されていま
す。各種団体からの申請により振
り込むのに、組戻手数料を計上し

た理由は。

永田福祉保健課長 繰戻手数料ですが、申請いただいたボランティア団体や会員の方からの口座の届出に度々誤りが見受けられることから組戻手数料を入れました。

藤江委員 臨時交付金の各種団体への補助で、使い方に戸惑う団体もあります。行政側の説明も十分なケースがあります。どのような趣旨の資金なのか、団体と行政が相互に理解できるように対応していただきたいのですが。

山崎町長 整理してご説明いたします。今回は補助金ではなくて支援金です。補助金は活動計画があるのが前提ですが、こちらは活動に対する支援が目的なので支援金です。使い道がないから必要のない団体は申請を出さなければいいのです。交付後の使い道については、団体の活動に使用するのであれば目的は自由です。

NPO法人西桂町 まちおこしの会

小林委員長 支援対象団体の中に「NPO西桂町まちおこしの会」(旧NPOみそづくりの会)があります。この会の活動内容は。

山崎町長 「旧NPO味噌づくりの会」は昨年4月にNPOになりましたが、会の若手から味噌づくりだけでなく町全体に対応するボランティア活動をしたいとの声が強くなり「西桂町まちおこしの会」に改変しました。これまで西桂町にはそうしたNPOがなく今後の活動を支援する理由で計上しました。また、「味噌づくりの会」は、法人組織ではなく、完全に別組織として、元の形に戻して会の運営を行っています。

健康福祉センター・グリーン センターエアコン設置事業

小林委員長 いきいき健康福祉センターの冷暖房整備導入経費1580万円と三ツ峠グリーンセンターの冷暖房設備等が3500万円相当額計上されています。バリエーアナリシス※1を行い、ポリウムディスプレイ※2による経費を削減する考えは。 **山崎町長** いきいき健康福祉センターは既に整備を始めており、補助金に充当しなくてもよいのですが、交付金事業の総額に少し余裕を持たせるため、国の内示額より多く予算を計上しています。三ツ

峠グリーンセンターは以前から予算的に課題となっていた事業で交付金により実行できることになりました。私もポリウムディスプレイについて承知していません。今後委員長のご指摘については行政課題として受け止めさせていただきます。

いきいき健康福祉センター エアコン設置事業

武藤(隆)委員 保健衛生費の中の施設管理費に、今回の補正によるいきいき健康福祉センター1階事務所へのエアコン設置とあります。



エアコン設置工事を行ういきいき健康福祉センター

す。それとは別で、地方創生臨時福祉交付金によるいきいき健康福祉センター改修2階エアコン整備とあります。今回の補正で1階部分を別に計上した理由は。 **永田福祉保健課長** 1期工事で既に執行されているいきいき健康福祉センターの工事予算には1階事務所のエアコン設置工事が含まれていません。これから2期工事を計画するにあたり、2階部分のエアコン設置工事と1階部分を同時に行ったほうが共有経費を削減でき工事も効率的にできることから、予算計上いたしました。 **高山企画財政課長** 補足ですが、当初計画では1階・2階全てのエアコンを替えようと計画してましたが、設計業者に確認したところ1階事務所については臨時交付金の対象にならない可能性があるので見解でしたので町単でやることになりました。

※1 バリエーアナリシスとは

価値分析(製造糧などの分析・改善で価格の引き下げを図ること)

※2 ポリウムディスプレイとは
まとめて購入することを条件に単価を抑えること



小林 剛 議員

問 高校生医療費の窓口負担無料化について

「子供医療費助成制度」の改善について質問致します。当町では18歳までの子供の医療費を無料にしていることは周知の事実であります。申請書類と領収書を福祉保健課へ持参し請求せねばなりません。

これは、親にとっても福祉保健課職員にとっても双方に余計な事務作業負担を強いるものです。

もう一步踏み込んだ政策

として、新年度から窓口負担無料化に踏み切るべきであると考えています。これにより親と職員の事務作業の改善ばかりか、病院窓口の事務職員のミス防止にまで「三方良し」の政策が実現します。

都留・大月・富士吉田市、富士河口湖町、忍野・鳴沢村では既に18歳までの窓口負担無料化が実施されています。町の方針をお答えください。

町長答弁 新年度より実施する方針

乳幼児・子ども医療費無料の経緯から説明いたします。

乳幼児・子ども医療費に関しましては、平成29年度までは0歳から15歳までを対象として窓口無料化を実施してまいりました。平成

30年度より償還払い方式ではありませんでしたが、医療費無料の対象を高校生まで拡大し、現在に至っております。令和4年度で5年目を迎えるにあたり、18歳までの高校生約1000人の医療費窓口無料化の検討を重ね

た上で、新年度より実施する方針を決め、令和4年度当初予算を編成し、4月からのスタートに向け、福祉保健課において着々と準備を進めているところであります。

まずは、富士吉田医師会及び都留医師会には、18歳までの高校生等の窓口無料化について説明をし、各医療機関に対し両医師会を通じて周知していただきまし

た。また、各保険医療機関への支払いを取りまとめている山梨県国民健康保険連合会及び、社会保険診療報酬支払基金山梨支部には、この度の制度変更について説明し、了解を得ております。これにより、町が交付する受給者証を医療機関で提示すると、0歳から18歳までの対象の方は、山梨県下のすべての医療機関で窓口無料になります。ただし、県外の医療機関を利用した場合には、償還払い方式で対応することとなります。なお、町民の皆様には広

報4月号で周知し、対象者には3月中に新しい受給者証の交付を行います。

この度の3月補正予算において、窓口無料化に向けたシステム改修の委託料及び受給者証の作成のための費用を計上しました。

今後も、子育てのしやすい環境づくりに努めてまいりますので、議員各位にはご理解とご協力をお願い申し上げます。





梅原浩一 議員

問

防災訓練の充実と町民の防災意識の高揚について

毎年実施されている防災訓練につきましては、各地区において、区長、組長を中心に、各種団体が協力して行われております。

12月定例会の町長行政報告のなかで、「従来の防災訓練よりも実効性の高い訓練ができた」と表明しております。

しかし、事前に防災情報により予測できる台風などの災害は、先行避難が可能ですが、いつ発生するかわからない地震や富士山噴火時の避難は、はたして、スムーズ且つ安全に行うこと

ができるのでしょうか。非常に不安を感じております。

まだまだ、町民一人ひとりへの啓発活動が足りないように思われます。

予測が難しい自然災害に備えた実践的な総合訓練を町全体で実施することができないでしょうか。

また、町民が災害に対する備えを心がけ、災害時において自発的に防災活動を行うことができるような、町民の防災意識の高揚を図るための取り組みについてお伺いいたします。

長 地区防災計画に基づいた防災訓練と地域防災力の強化に努める

令和3年11月27日に行われました「富士山噴火防災訓練」につきましては、実際の災害時に避難行動要支援者と成りえる住民ご本人に参加していただく中で、

地域の共助、避難所の運営方法等について確認ができたこともあり、実効性の高い訓練であったことを報告させていただきました。災害はいつ起こるかかわ

りません。平時から災害に對し、高い意識を持ち続けることが重要です。町全体での防災訓練では、町と各自主防災組織との情報伝達訓練や展示などが主です。また、近年では、地区の防災リーダーが中心となり、訓練の企画立案を行い、区という単位に留まらず、組単位や「向こう三軒両隣」といった小さいコミュニティでの安否確認ができるよう、声かけを行うリーダーを決めるなど、具体的な避難行動の実効性の確認を含めた訓練を実施しております。

併せて、小中学校の児童、生徒、保護者にも参加いただくことにより、防災教育のひとつとなっております。

東日本大震災以降、自助、共助の重要性が全国で唱えられ、当町におきましても、自主防災組織への補助金の給付や、地区ごとに防災リーダーが中心となり、地区防災計画に基づいた防災

訓練を実施しております。

また、昨年、「富士山火山ハザードマップ」が改定されましたので、広域避難の在り方についても再検討を行っているところであります。

町民の防災意識の高揚を図るための取り組みといたしましては、有識者を迎えた防災講演会の開催、また、令和4年度、当町において実施予定の「山梨県地震防災訓練」では、多くの町民の皆様に参加していただき、防災意識の啓発となるよう取り組んでまいります。

災害発生時に一人でも多くの人が助かるために最も重要なことは自助と共助です。今後も自主防災組織との連携を密にし、地域防災力の強化に努め、それが町民一人ひとりの防災意識の高揚につながる取り組みにしたいと考えております。



武藤英一 議員

問 アフターコロナを見据えた地方創生への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症は収束の兆しも不透明な状況です。そのような状況下、地方への移住政策・企業と行政の連帯が都内と隣接しているわが山梨県は、非常に関心が高まっており、すでに実行されている市町村もあります。

当町にけるウイズコロナ期において進められている取り組みを踏まえてアフターコロナ期を見据えた町の活性化・地方創生戦略を進めて行くことが、今必要と考えますが、町長のお考えをお聞かせください。

長弁 町答 他地域と比較して優位性をアピールすることに注力

町の活性化・地方創生への取り組みにつきましても、コロナ後を見据えるだけではなく、新たな感染症が発生しても対応できる取り組みでなければなりません。

新しい働き方に対応した地方創生の中でも企業との連携や首都圏域からの移住を促す施策は重要であると考えています。そのためにも、他地域と比較しての優位性をアピールすることに注力していく所存です。

問 高齢者の健康づくりに向けた取り組みについて

2025年「団魂の世代」が後期高齢者の年齢に達し国民の4人に1人が75歳以上という超高齢者社会が到来すると予想されています。後期高齢者世帯・要介護者や認知症高齢者が増加し「医療・介護・福祉サービスの需要」が高まることで、社会保障財政のバランスが崩れるおそれがあると指摘

されています。このため、地域の住民が主体となった「生きがい・役割・居場所・楽しみ」づくり活動の取り組みが注目をされております。当町における高齢者への健康づくりに向けた取り組みについてお考えをお伺いいたします。

長弁 町答 地域包括ケアシステムの構築を推進

2025年には「団魂の世代」が後期高齢者の年齢に達し、超高齢者社会が到来するとともに、高齢者を支える若者が減少し、社会保障財政の崩壊が危惧されるところです。

今後、地域における課題や問題点を整理し、その対策を考え、地域包括ケアシステムを構築し、高齢になっても住み慣れた地域で、過ごしやすい環境整備に努めてまいります。

その対策といたしまして、介護予防教室や認知症予防教室など、運動と五感を活性化する教室を開催するとともに、高齢者の皆さんが気軽に立ち寄れるサロ



渡辺正芳 議員

問

縦割り行政の改革を！

12月の定例会において、第6次総合計画の資料をいただきました。各分野別に独立した形で、実施計画が明記されています。しかし、それは各部署、課ごとの役割に沿った計画に思われなりません。

どの計画も、いかに西桂町をよりよい町にしていこうかということが目的だと思います。

一例を挙げてみますと、桂川穴口水から建設中の陸上養殖場の公園、桂川公園、郷土公園、競馬山、とうざんの里、三ツ峠グリーンセンター、役場新庁舎、三ツ峠駅前広場を繋ぐ散策コースを作り(かなりの道は現状では使用可能であり、一部の場所は町の遊休地がある。)西桂町の魅力

の再発見や町民の健康づくり、更に、各地区において区民参加型のワークショップの実施により、区民の意見を事業や政策に反映するためには、従来の「縦割り」の事業や取り組みを超えた、各課連携による職員の協力的体制づくりが必要だと考えます。単独では成しえないことも、目的を一つにした協働作業により目標への達成能力は、はるかに上回るのではないのでしょうか。

議員のおっしゃるとおり、第6次総合計画・実施計画において各課の事業名が記載されております。これは該当事業における担当課を具体的に記載したものです。

より進めている事業となります。いずれにいたしまして、「行政は公共の福祉のために働く」という地方自治の基本理念のもと、議員のおっしゃるように「いかに西桂町をよりよい町にしていこうか」という目的をもって、事業を計画・遂行しております。

小さな自治体である当町におきましては、課をまたいだ事業協力を要請し、職員一丸となって事業を遂行していることをご理解いただきたいと思います。

なお、令和4年度の主要事業の中で、山梨県地震防災訓練、新庁舎建設事業、ふるさと西桂応援寄附金事業、都市計画マスタープラン改訂事業、高齢者移動支援事業、三ツ峠ふるさと夏まつりなど、多くの事業が各課の連携・協力により横断的に実施する事業となりますので、ご理解をお願いします。

町長答 各課の枠を超えた連携による事業の遂行

縦割り行政の改革はとも大変なのは十分に理解しておりますが、是非このような形のプレゼンテーションを行って実行していただきたいと考えております。町長はじめ執行部のお考えをお聞かせ下さい。

議員が例示されました町内散策コースの設定、健康づくり、ワークショップ等の事業の計画担当は、産業振興課、福祉保健課、企画財政課になりますが、実施段階になれば、必要に応じて各課に協力し実行していくことになっております。事業によっては、計画段階から複数課の共同により取り組む場合もございます。国の行政課題として取り上げられる議員ご指摘の「縦割り行政の弊害」は、当町には存在していません。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させていただきますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その87

訪問先

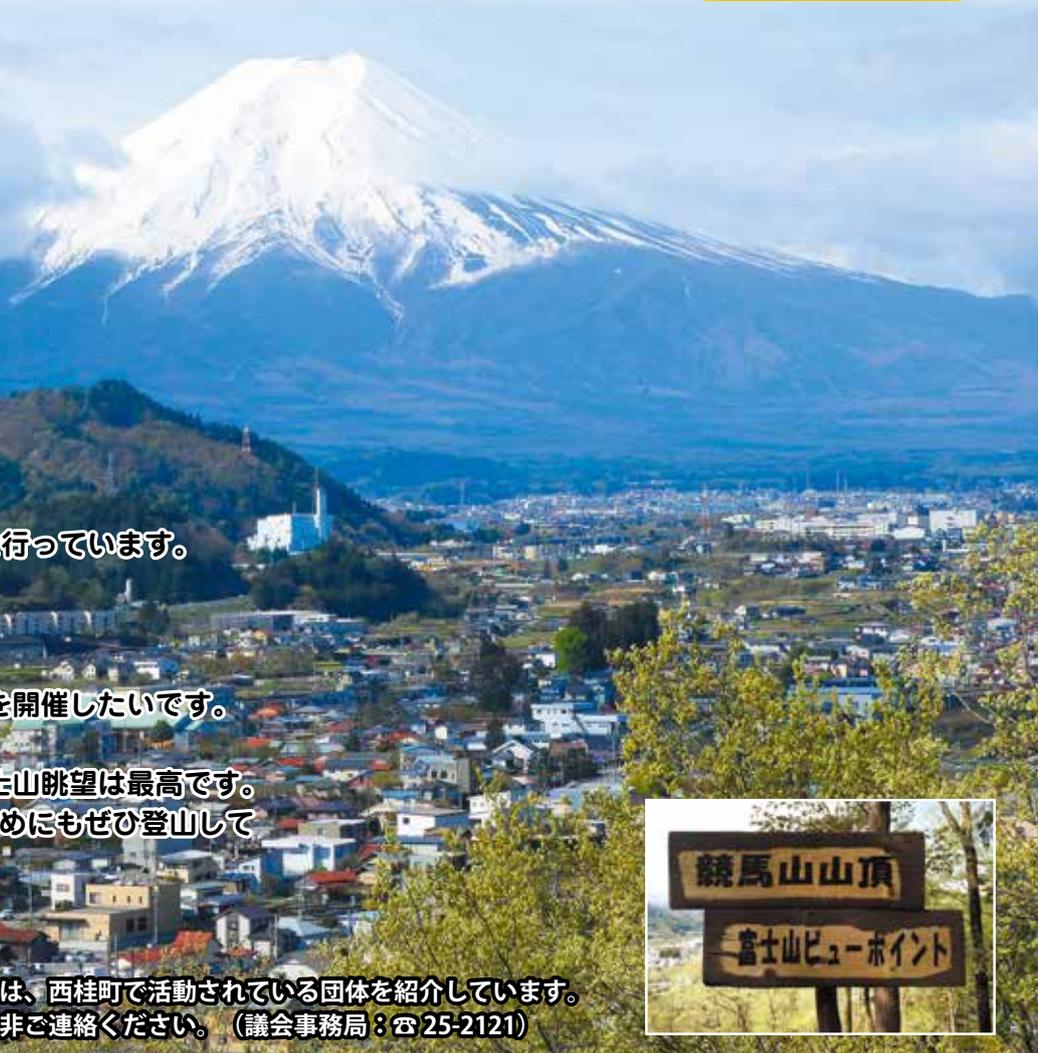
三ツ峠開運の鐘と
競馬山幸せの鐘の会

代表：宮下 常隆

取材日：4月13日
梅原議員、菅谷議員



幸せの鐘



問 会員数を教えてください。

宮下さん 15名です。

問 活動日・活動時間は。

宮下さん

月2回、午前9時から10時まで、
また、6月と8月には下草刈りを行っています。

問 活動場所は。

宮下さん 競馬山周辺です。

問 今後の目標は。

宮下さん 競馬山ハイキングを開催したいです。

問 お知らせしたいことは。

宮下さん 競馬山山頂から富士山眺望は最高です。
気軽に登れますので、健康のためにもぜひ登山して
みてください。

コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。
掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。（議会事務局：☎ 25-2121）

